

議事1 令和4年度長岡市の教育・保育施設の利用定員について 【承認する:19人/承認しない:0人/未回答:1人】			
No.	意見・質問等	長岡市回答	担当課
1	数字だけを見ると希望数と施設数は確保されているようだが、家から近い所、入りたい園に希望通りには入れているかなど、保護者の満足度はどうか。	入園を希望する地域の混雑状況や各園のクラス定員などにより、全ての入園希望者が第1希望園に入園できるわけではありませんが、第5希望までの園にほとんどの児童が入園できており、概ね満足いただいているものと考えております。(令和4年4月入園一次募集、第1希望園入園決定者96.5%)	保育課
2	入園希望者は定員内だが、希望地域への入園は充されているか。	3歳以上児クラスは概ね希望地域への入園は充たされております。 未満児クラスでは、地域の児童の人口増などにより、希望園が集中することで第一希望への入園が叶わない児童もいますが、保護者が送迎できる範囲での入園はできております。	保育課
3	マタニティライフ応援金の予算があるのなら、その分を保育士さん達の給与をあげるなどして保育士の数を増やすのも大切な事だと思う。訪問に行き保育士さんにお話を聞くと、収入に対して不満がある人も多く、そこが改善されれば保育士として働いてもいいという人も増えると感じている。そちらの方が少子化対策としては効果があり、望まれている事だと思う。	保育士の給与につきましては、県内の他市の状況や他職種、公立私立のバランス等を見ながら改善を図っています。 令和4年2月から保育士の給与について、国が経済対策として実施する「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」により、収入の3%程度の引き上げを行っております。 また、公立の非正規保育士の給与については、4月からさらに市独自で処遇改善を行う予定です。 この処遇改善により、保育士等の離職防止や働きがいアップにつながるものと期待しております。	保育課

議事2 令和4年度子育て支援にかかる予算について 【承認する:17人/承認しない:2人/未回答:1人】

No.	意見・質問等	長岡市回答	担当課
1	人員拡充に予算増を充てており、よいと思う。互尊文庫が街の中心に移る事を見据え、本による人づくりや街づくりへの期待を新規事業に感じた。ただ、妊婦への現金給付は目的がよくわからない。一時的な支援でなく、もっと視野を広げて支援すべき事を見つけてほしい。	令和4年度から実施する「マタニティライフ応援金」については、妊婦の方に対し現金給付をすることで、妊娠期間を心豊かに過ごすことの重要性を伝えるとともに、それを実現するための活動や妊娠に伴う経済的負担の軽減の一助として活用いただくことで、その後の順調な出産や育児につながることを目的とするものです。また、妊娠を喜べない状況にある人たちもいる昨今、あなたの妊娠と一緒に喜びます、地域全体で子育てをしましょうというメッセージを伝えることで、それが妊婦さんを支えることになると考えています。	子ども・子育て課 (子育て支援係)
2	一人一台のタブレット教育の中で、取り残される子どもが出ないよう、今まで以上の教育格差が生まれまい願う。	Edu-Diver構想による教育支援体制をさらに充実させ、誰一人取り残さない教育を推進していきます。	学校教育課
3	「通学用の車を手配し」とあるが、高等総合支援学校はスクールバスでの通学はしていないのか。	高等総合支援学校の生徒の通学につきましては、自力通学を基本としていますが、生徒の中には心身の状況により自力通学が困難な方もいることから、生徒本人の自力通学に向けた支援と、保護者の負担軽減を図るため、市で通学用の車両を手配し、通学支援を行っているものです。 (令和元年7月から運行開始。令和4年度は3台を運行予定)	学務課
4	ヤングケアラーの支援について実態を知りたい。市内に該当する生徒は何人くらいいるのか。	令和3年8月から10月に新潟県が実施したアンケートでは、「世話をしている家族がいる」と回答した中学2年生は全県回答者全体の6.8%、全日制高校2年生が3.2%でした。この結果から、長岡市でも世話をしている家族がいるという児童・生徒は少なからず存在しているものと推測されます。	子ども・子育て課 (子ども家庭センター)

議事2 令和4年度子育て支援にかかる予算について 【承認する:17人/承認しない:2人/未回答:1人】

No.	意見・質問等	長岡市回答	担当課
5	<p>発達相談支援体制の強化について、各園に出向いての相談体制の実状が知りたい。園でのトラブルを未然に防ぐことが大切だと思うが、機能しているのかどうか。「すこやか応援班」に繋ぐこと＝障害のある子とみなされるのでできないという話も聞かすが、グレーゾーンの子の支援の仕方を教えてください。長岡にはどのくらい配置されているのか。(人数、職種)</p>	<p>子どものより良い成長を促していくため、日常的に接している園が配慮を要する児の支援を必要とした際、こどもすこやか応援チームが市内全園を対象に様々な支援やサポートを行体制となっている。グレーゾーンと言われる子は、家庭で過ごす分には大きな問題がなく、保育園や幼稚園等の集団に入り、他者とのコミュニケーションや周囲からの刺激の情報処理などはじめて困り感を生じるケースもある。トラブルにつながらないためにも、子どもの特性に早期に気づき、適切な対応は重要であり、そのための協力体制をとっている。令和3年度は、配慮が必要な175人の子どもについて年3回程度訪問し、継続した支援を行っている。現在こどもすこやか応援チームは、保育課(保育士・心理士・保健師・訪問相談員) 子ども子育て課(保健師) 子ども家庭センター(保育士)児童発達支援センター柿が丘学園(児童指導員・訪問相談員)学校教育課指導主事等、13名で構成。</p>	<p>保育課 (すこやか応援係)</p>
6	<p>人的な拡充については、「〇人増」があると分かりやすい。</p>	<p>Ⅱ 2子どもサポート体制の充実 ・介助員・・・154名→185名(31名増) ・看護師及び看護介助員・・・5名→10名(5名増) Ⅱ 3高等総合支援学校の運営 ・作業支援員・・・7名→10名(3名増) Ⅱ 4部活動地域意向の推進 ・部活動推進員・・・20名→25名(5名増)</p>	<p>学校教育課</p>
7	<p>子宮頸がんやコロナワクチン接種について、推奨はするがその後の後遺症状等については全て自己責任という形は何かならないものか。そこが普及しない最大の原因と考える。</p>	<p>定期の予防接種によって引き起こされた副反応により医療機関での治療や健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づき救済が受けられません。</p>	<p>子ども・子育て課 (すくすく子育て係)</p>
8	<p>マタニティライフ応援金制度はどのような目的で新設されたのか。今後、産前産後ケアが重要視されてくると思うが、それにあたる部分の予算案がないことは残念に思う。 5万円の現金給付は、ただのばらまきの様に感じ、その予算があるなら必要としている人が必要なケアを受けられるようにしてもらいたかった。</p>	<p>目的については1の回答を御参照ください。 産前産後ケアについては、長岡版ネウボラとしてさまざまな施策を展開しているところであり、令和4年度以降も継続していきます。マタニティライフ応援金制度を開始することに伴い、現在の産前産後家庭生活応援事業を廃止し、これまで用途が限られており、1回のケアにつき1,000円までの助成であったことから利用件数が伸びていなかったこともあり、新たな応援金は用途を限っていないため使い勝手がよくなり、より多くの方から気軽に必要なケアを受けてもらえるものと考えています。</p>	<p>子ども・子育て課</p>

議事2 令和4年度子育て支援にかかる予算について 【承認する:17人/承認しない:2人/未回答:1人】

No.	意見・質問等	長岡市回答	担当課
9	子宮頸がんワクチンの積極的接種を再開について、過去に定期接種で積極的勧奨を行った時の被接種者のうち、一定の数の方にギラン・バレー症候群や急性散在性脳脊髄炎、記憶障害などの重篤な副反応が発生したが、長岡市ではその副反応被害者の把握はどの程度されているか。また、今後の積極的接種勧奨再開には慎重な姿勢が望まれると思うが、接種後に重篤な副反応が出た方への対応は十分議論されているか。	副反応被害者については、接種医師からの副反応報告で把握しています。接種後に重篤な副反応が出た方の対応については、医師会・接種医療機関と相談体制について協議しております。重篤な副反応の場合は、長岡市健康被害調査委員会で審議します。	子ども・子育て課 (すくすく子育て係)
10	ひとり親家庭の養育費の取り決めに支援について、先進的な施策でとても良いと思う。実効性が上がるように弁護士会との連携などを積極的に取り組んでいただきたい。	令和4年度の新規事業となる養育費の取決め支援については、効果のある施策となるように、周知を図っていきたいと考えています。	生活支援課
11	ヤングケアラーの支援の実施について、とても興味深い。医療、福祉分野の連携が必要だと思う。	令和4年度、小・中学校、高校の養護教諭、福祉・介護系職員で長岡市のヤングケアラーの実態を共有し、支援体制について検討をする予定です。	子ども・子育て課 (子ども家庭センター)

報告事項 令和3年度第3回長岡市子ども・子育て会議(書面会議)の報告について

No.	意見・質問等	長岡市回答
1	<p>人材確保の方向性と、専任と代行との区別を時間や賃金等で区別しているのであれば、しっかりとした分別をしてほしいことも含め考えていってほしい。地域の中だけでなく、他地域でも可能とするともっと有意義にできると思う。保護者の質の悪化と、視野に有料化も考えてほしい。</p>	<p>人材の確保については、地域だけでなく広い地域からの雇用も含め検討していきたい。また、専任と代行の処遇についても併せて検討していきます。</p>
2	<p>委員からの意見も充分取り入れ、ワーキング部会での検討をお願いしたい。子どもの幸せを根っこに置いての結論方向づけをお願いしたい。</p>	<p>皆さまからいただいた意見、現場の意見、保護者及び子ども達の意見等を集約し、ベストな結論になるよう検討していきます。</p>
3	<p>専門性、専門分野という言葉が入っているので、個別対応や配慮が必要な児童の方への対応職員の配置も必要だと思う。</p>	<p>配慮が必要な児童が増えている現状を踏まえ、必要な職員の配置についても検討していきます。</p>